

平成24年泉北水道企業団議会第1回定例会会議録

平成24年2月10日（金）午前10時 泉北水道企業団議会第1回定例会を泉北水道企業団信太山事務所に招集した。

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	堀口 陽一 議員	2番	林 哲二 議員	3番	中谷 昭 議員	5番	田中 一吉 議員	6番	田立 恵子 議員
7番	山本 秀明 議員	8番	石原日出子 議員	9番	岡 博子 議員	10番	小林 昌子 議員	11番	柏 富久蔵 議員
12番	松本 善弘 議員	13番	寺島 誠 議員	14番	永山 誠 議員	15番	清水 明治 議員	16番	久保田和典 議員

1. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1		会議録署名議員の指名について
日程第2		会期の決定について
日程第3	監査報告第1号	例月出納検査の結果報告について（9月分）
日程第4	監査報告第2号	例月出納検査の結果報告について（10月分）
日程第5	監査報告第3号	例月出納検査の結果報告について（11月分）
日程第6	議案第1号	平成23年度泉北水道企業団水道事業会計補正予算（第1号）について
日程第7	議案第2号	平成24年度泉北水道企業団水道事業会計予算について

1. 地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求め出席した者は次のとおりである。

企業長	阪口 伸六
副企業長	神谷 昇
副企業長	辻 宏康
監査委員	石田 守
和泉市上下水道部長	坂上 宣要
泉大津市上下水道局長	下村 昭
高石市土木部長	田野 泰偉
泉北水道企業団水道事業所長	寺内 正満
同次長	辻本 孝之
同参事	定 等
同庶務課長	中川 尚
同浄配水課長	山口 和久
同浄配水課参事兼浄配水係長	山田 佳彦
同庶務係長	岩田 伴江

1. 本会の事務局長及び職員は次のとおりである。

泉北水道企業団 参 事	定 等
同庶務課長	中川 尚

開 会

平成24年2月10日（金）午前10時開会

- 議長（小林 昌子議員） おはようございます。たいへん長らくお待たせいたしました。
本日は、公私何かと御多用のところ、早朝より本会議に御出席いただき誠にありがとうございます。
それでは、事務局より本日の出席議員について報告をいたします。

- 次長（辻本 孝之君） 次長の辻本でございます。御報告申し上げます。本日の出席議員数は全員出席の15名でございます。

- 議長（小林 昌子議員） ただいまの報告どおり出席議員数15名をもちまして、会議が成立しておりますので、これより平成24年
泉北水道企業団議会第1回定例会を開会いたします。
会議に先立ちまして、企業長より開会にあたりましてのあいさつの申し出がございますので、これを許可することにいたします。

- 企業長（阪口 伸六市長） おはようございます。議長さんのお許しをいただきまして、一言ごあいさつを申し上げたいと存じます。
本日、ここに、平成24年泉北水道企業団議会第1回定例会の招集を申し上げましたところ、議員の皆様方には、公私何かと御多
忙の中、御出席を賜り厚く御礼申し上げます。
また、平素は当企業団の運営につきまして、色々と御支援、御配慮をいただいておりますことを、心から深く感謝申し上げる次第
でございます。
さて、平成23年度の送水状況でございますが、昨年5月に緊急的なヨコエビの異常発生で約2ヶ月間の送水を停止をし、また、
11月には光明池土地改良区からの耐震補強工事の変更により、若干、原水の確保が減少したわけでございます。このため、当初計
画水量より、180万立方メートルをダウンいたしました400万立方メートルとなるような見込みで推移しておりますところでござい
ます。関係三
市及び皆様に対しては、大変御迷惑をおかけ申し上げ恐縮に存じておりますが、このような状況の下、平成24年度の予算編成にあ
たりましては、原水の確保と安定送水に十分配慮をしながら、これに係る必要経費を計上した次第でございます。後ほど担当のほう
から詳しい説明をさせていただきますが、どうか、よろしく御理解を賜りますよう、お願いを申し上げます。

なお、本日の定例会に御提案申し上げております諸議案につきましては、例月出納検査の結果報告と平成23年度泉北水道企業団水道事業会計補正予算第1号、並びに平成24年度泉北水道企業団水道事業会計予算についてでございます。

なにとぞ、慎重御審議をいただきまして、いずれも御可決御承認を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

どうかよろしく願い申し上げます。

○議長（小林 昌子議員） 企業長のあいさつが終わりました。

それでは、ただいまより会議に入らせていただきます。

本日の議事日程についてでございますが、あらかじめ議会運営委員会の御内意をいただいておりますので、お手元の日程により議事を進めてまいりたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（小林 昌子議員） 異議なしのお声がございますので、お手元の日程どおり議事に入らせていただきます。

それでは、議事日程に従いまして、日程第1会議録署名議員の指名についてを議題といたしたいと存じます。指名につきましては、会議規則第102条の規定によりまして、本日の会議録署名議員を私より御指名申し上げます。3番、中谷 昭議員、5番、田中 一吉議員、以上の御両名をお願いいたします。

それでは日程第2会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期につきましては、本日1日と定めたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（小林 昌子議員） 異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期につきましては、本日1日と定めることに決定いたしました。

次に、日程第3監査報告第1号例月出納検査の結果報告についてより日程第5監査報告第3号例月出納検査の結果報告についての3議案はそれぞれ関連がございますので一括議題といたします。

本件につきましては、すでに議員各位に御送付申し上げますとおり、平成23年9月分から平成23年11月分の各月末現在の現金出納状況等の結果報告でございます。

つきましては、お目通し願っておることと存じますので、何か御質問等ございませんか。

(なしの声あり)

○議長（小林 昌子議員） ないようでございますので、本件につきましては、これもちまして終わらせていただきます。

続きまして、日程第6議案第1号平成23年度泉北水道企業団水道事業会計補正予算第1号についてを議題といたします。理事者より提案説明を願います。

○所長（寺内 正満） 所長の寺内でございます。ただいま、議題となりました、議案第1号平成23年度泉北水道企業団水道事業会計予算補正第1号につきまして御説明申し上げます。

まず、補正を要する主な概要でございますが、収入では営業収益で給水収益の減額でございまして、当初、年間総給水量を580万tとして予算計上をしておりましたが、今年度の5月、緊急的にヨコエビが異常発生し、この対策工事を行うため約2ヶ月間送水を停止したことによりまして、計画水量から大幅な減量となりましたが、送水を再開いたしましてからは、当初の予定総給水量でございます580万tを回復できるよう増量した計画水量で送水を行ってまいりました。

しかしながら、予定をしておりました大野池の外り面の耐震補強工事の内容の変更が11月に急遽行われ、池の水位を当初打合せより、大幅に下げて工事を行う旨、光明池土地改良区からの申し入れがございました。よって、原水の確保が困難となり、これにより、計画水量の再度大幅な見直しを余儀なくされました。

このようなことから、平成23年11月現在の有効貯水量、大野池約80万t、光明池約30万t及び企業団貯水量約10万tの合計120万tの有効水量をもって、3月末までの給水を行うことといたしました。したがって4月から10月までの送水量、280万tを合わせますと400万tとなる見込で、当初計画より180万tの減量となる予定でございます。また、支出につきましては水道事業費用の営業費用で送水量の減に伴う原水費の減額と職員共済の法定福利費の増額及び営業外費用で消費税の減額補正をしようとするものでございます。

それでは、内容につきまして御説明申し上げます。補正予算書の1ページを御覧いただきたいと思っております。

第2条でございますが、予算第2条に定めた年間総給水量580万tを400万tに、一日平均給水量15,890立方米を10,960立方米に改めるものでございます。

次に、第3条でございますが、予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を補正するものでございまして、まず、収入の第1款、水道事業収益の第1項、営業収益で108,108千円の減額補正をおこない、水道事業収益を241,348千円とするものでございます。

次に、支出でございますが、第1款、水道事業費用の第1項、営業費用で23,348千円の減額と、第2項、営業外費用の消費税で、4,000千円の減額補正を行い、水道事業費用を318,766千円とするものでございます。

次に2ページをお願いいたします。

第4条でございますが、予算第8条に定められた、議会の議決を経なければ流用できない職員給与費、121,926千円を122,676千円に改めるものでございます。

なお、詳細につきましては、3ページ以降に記載しておりますので、御参照賜り、よろしく御審議の上、御可決承認いただきますようお願い申し上げます。

○議長（小林 昌子議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

○7番（山本 秀明議員） ちょっと、2点ほどしたいんですけども、

まず、ちょっと簡単な方から、単純にちょっとお聞きしたいんですけども、4頁になるんですけど、支出の部分で営業外費用、ここで支払利息及び企業債取扱費として800万、まあここに一時金入金利息という形で書かれてるんですけど、ちょっとこの一時金入金利息っていうのが、どういうものなのか、ちょっとそのへん、御説明いただきたい。

というのと、もう一点につきましては、いわゆるアミエビ等の発生によりまして、給水、水が送ってもらえないということで、水道の事業収益ですよ、これが、1億800万程減額になったと、水の費用というのが減るのでトータルすれば水道事業だけの収益としたしましては、差し引きいたしましたら77,481千円ですか、の減額という形になるんですけども、先ほども御説明いただいたんですけども、いわゆるヨコエビですか発生して、当初は後半の所でカバーするというような話やったんですけども、いわゆる池の耐震工事ですか、その関係で、それもできなくなって、結果的にこういう形になったという御説明もいただいているんですけども、いわゆるその、後半の方でカバーできるということでの話しも、お聞かせいただいていたんですけども、それはどういう形で、それは本当に可

能だったのかどうか、その辺についての考え方、どういう形で後半カバーするようにしていたのか、そのへんについてをちょっと御説明をいただきたいということでございます。以上です。

○議長（小林 昌子議員） 山本議員に確認します、今、一時金入金の利息800万と言われたと思いますけど、80万

○7番（山本 秀明議員） すみません、80万ですね

○議長（小林 昌子議員） では、そのように。では、答弁願います。

○庶務課長（中川 尚） 庶務課長の中川でございます。

山本議員さんの一点目の一時借入金の利息についてでございますが、一時借入金の利息の間違いでございます。どうも申し訳ございません、訂正させていただきます。「借」が抜けておりました。以上でございます。借入金の利息を払う、

○議長（小林 昌子議員） いいですか、その、文字の間違いではなく

○7番（山本 秀明議員） 文字の間違いもあるんですけど、一時借入金、それと、よろしいですか、答弁されてから。

○議長（小林 昌子議員） ちょっと待つて下さい、答弁できますか。大丈夫ですね。

○庶務課長（中川 尚） 一時借入金の利息でございます。4000万の、予算の第5条の、平成23年度の予算にあげてます、一時借入金利息の限度額を4000万と定めておまして、利息分として2%を計上しておりますので、80万円でございます。以上でございます。

○7番（山本 秀明議員） いえいえ、もう一問。

○参事（定 等） 2点目のヨコエビ発生と工事、ヨコエビ発生だけの減量で、後半それを補う計画を立てた内容について質問でございますけど、一応、ヨコエビが発生して、再送水をする時に、8月、9月、10月で計画送水を上回る送水と言うことで実質的にやっております、その計画内容につきましては、一応、日2万tということで、後半を送水すると、約580万になるということで、その内訳につきましては、10月末で実質水量が約220万tございまして、その後半11月から3月末まで、その時に約、光明池が90万tぐらいございまして、大野池が80万t、企業団10万tぐらい、これで180万tぐらいございまして、その180万と220万で約400万、後半、雨量がございまして、年平均だいたい640ミリぐらい、だいたい平均ずつ降りまして、後半で、それでいきますと、1ミリ降りますと、だいたい取水量が5,300tぐらいございます。その分でいきますと、それだけで計算しますと、それだけで360万tぐらいなるんですけども、そんな上手くはいきませんので、その半分ということで計算で180万tということで、先ほどの400万tと180万tで、だいたい580万tぐらいの数字が見込めるということで、計画立てをいたしました。以上でございます。

○7番（山本 秀明議員） すみません、1問目の方は簡単にですので、1問ずつ。

1問目の分につきましては、一応、文言については、一時借入金の利息と言うことで、それは理解させていただきました。

それと、ちょっとね、私のあれの中では泉北水道については借入れ無しで、全部、色々な資金面もあるということで、借り入れというのが、あまりちょっと意識無かった、その400万というのは、実際借り入れされてるんですか。

○庶務課長（中川 尚） 借入れはされておられません。

○議長（小林 昌子議員） していない。

○庶務課長（中川 尚） 借入れはしてないです。

○議長（小林 昌子議員） していない。

○庶務課長（中川 尚） はい。

○7番（山本 秀明議員）　　そしたら、借入れ無いのにそういう形であげるといのは、いわゆる現金での流動資産というんですか、いうのも沢山あるというのに、そのへんについて予算計上されているというのはどういうことなのか、そのへんについて御説明いただけますか。

○議長（小林 昌子議員）　　答弁できますか、どうぞ。現金を沢山、泉北水道は持っているのに、なぜ、借入れるということを想定しているのかという御質問ですよね。

○7番（山本 秀明議員）　　そうです。

○庶務課長（中川 尚）　　庶務課長の中川でございます。

平成6年に大漏水がありまして、その時に1億3千万ほどの赤が当企業団出しまして、今年度で2億2千万ほどの資金余裕等があるんですけど、その時は水が送れないだけの赤でございまして、それに工事とかが、もし発生しました場合に備えて4千万という金額を計上しております。以上でございます。

○議長（小林 昌子議員）　　4千万って

○企業長（阪口 伸六市長）　　整理してお答えしないと、平成6年の事なんか先生、聞いていない。

○参事（定 等）　　参事の定です。

補足をですね、一応、今、説明させてもらったのは、一応、資金の余裕というのにはございますけれど、何かあった場合に、過去にあったというのは、送水の減で、そのみの収益の減でそれぐらいの赤があったのを、資金でもって事業をするんですけども、その時以外に施設の更新とか、送水の減では無しに事故とかあって、施設が更新といいますか工事とかという費用が入りますと、収益も減りますし、工事費用もかさむということで、今ある資金でも、ひょっとしたら足りないんじゃないかなということで、一時借入金を一応4千万という限度額であげさせていただいております。以上でございます。

○7番（山本 秀明議員） わかりました。まあそういうことということなんですけども、ちょっと普通ではね、もう2億からの、なんていうんですか、現金での自由にできるお金があるという中で、こういう予算組みするというのは、ちょっと私は理解しにくいので、また御検討いただいたらということだと思います。

○議長（小林 昌子議員） 御指摘をよくふまえて、資金繰りも、それから手持ちの資金の事も含めて、よく御検討下さい。でっ 次。

○7番（山本 秀明議員） 次に、先ほど御答弁いただきました、いわゆる2か月間止まった分は後半で補うこうなるということで、数字的にはそして多分、それで見てるということにおいては、いわゆる企業団の中の機械的な部分についてもね、それでやっていけるんだあるということで、計画していったということが理解するんですけどもね、そしたら一点、そのへんいわゆる、水をもらうということについては、光明池さんとの協議は必要かと思うんですけど、そのへんの協議の方はきちっとされていたのかどうか、そのへんについてお答えいただきますでしょうか。

○次長（辻本 孝之） 次長の辻本でございます。

今のお答えでございますが、ヨコエビで2か月間止まったということは、光明池さんも重々承知ということで、それに対してのバックアップ、協力体制を協議いたしまして、できるだけの協力はさせていただきます、という協議は何回も、一応持たせてもらいました。以上です。

○7番（山本 秀明議員） ありがとうございます。そしたら光明池さんの方の理解もいただいてやっていただける。ただ、まあ結果的には、工事の関係があつて水を抜かなくてはならなかったもので、実質的に供給されなかったということで、理解させていただきます。

そこですすね、今年度におきましては、先ほども申しましたけども、水道事業収益ということで7,700万からの赤字という状況になってるわけなんですけども、これは、なんていうんですかね、給水量が多くすれば、まあこのへんについては、赤字というのは消していけるということで、23年度の計画において、後半でそれを、供給量を増水することによってできるという計画を立てたわけなんですけどね。

じゃあ、そしたら来年度に向けてね、やはりこのへんの赤字を解消するための努力としてね、そのへんについてどのように、お考え

になられてるのか、そのへんのお考えをお聞きしたいというふうに思います。

○所長（寺内 正満） 所長の寺内でございます。今の山本議員の御質問にお答えさせていただきます。

先ほど、補正の主な概要を説明させていただきました理由の中に申し上げております理由がございますが、結果といたしまして、今回大きな収入の減ということに相成ります。事務局といたしましては大変申し訳なく思っておる次第でございます。

光明池土地改良区とですね、水の送る側の光明池土地改良区、それから作る側の企業団のそれぞれの事情があいまって今回の結果に至ったっていうこと、その理解を、まずお願いしたいと思う中で、光明池さんに対しましても従来から十分に連携を図った水道事業の運営を図っているところでございますが、今回至った事情を踏まえてですね、なお一層の連携を深めて協力体制を作っていくたいな、と考えております。それと、後ほど、御説明御提案申し上げます、24年度の予算絡みですけども、一応、三市さんと光明池さんと協議の上ですね、580万、年度当初に協議をいたしまして、予算組みするについては580万t、来年もその見込で予算計上をいたしているところでございますが、580万t、これはですね、先ほど、参事の方からも言いました、年間降水量を算借して、三市に対して安定的に給水ができるボリュームとして年間580万tを設定しているところなのでございます。今申し上げましたように、今回の事情をですね光明池さんと十分協議いたしまして580万tを設定いたしておりますけども、この580万tにこだわることなく、10でも20でも多くですね、給水できるような協力体制を光明池さんと今後、協議をですね持っていくたいなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○7番（山本 秀明議員） お答えいただきました、24年度の予算でも、次出てくるねんね、ちょっとなかなかそっちに踏み込んではいにくい部分もあったんですけども、一応、予算書もらってるので、そこでは従来と同じ580万tということなんですけども、今、所長のほうから、御答弁あったとおり、それにこだわらず少しでも多くいただけるようにということで、御答弁いただきましたので、それはそれに向けて努力いただきたいというふうに思います。

まあ、ただ、企業という、企業団ですよ、いわゆる独立している企業ということにおいて、本来3億4千万円ほどの事業収益得る中で、1億減ったということは、本当に大変なことやと思うんですよ、普通の企業であるならば、本当に、経営という部分に関してはね、非常に大変な事態ということをお認めいただいて、そのへんの努力をやっていただけるということですので、頑張ってくださいたいというふうに要望いたしまして終わります。以上です。

○議長（小林 昌子議員） ありがとうございます。他に質疑はございませんか。無いようですので質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論のある方は挙手願います。

（挙手するものなし）

○議長（小林 昌子議員） 挙手する方いませんね。討論なしと認め討論を終わります。
これより採決いたします。本件について原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり。）

○議長（小林 昌子議員） 異議なしと認めます。よって、日程第6議案第1号平成23年度泉北水道企業団水道事業会計補正予算第1号につきましては、原案どおり可決することに決定いたしました。

次に、日程第7議案第2号平成24年度泉北水道企業団水道事業会計予算についてを議題といたします。理事者より提案説明を願います。

○所長（寺内 正満） 所長の寺内でございます。ただいま議題となりました議案第2号平成24年度泉北水道企業団水道事業会計予算につきまして、御説明申し上げます。

予算書の1ページを御覧いただきたいと存じます。総則の第2条、業務の予定量でございますが、構成三市と協議をいたしまして、年間総給水量を580万t、一日平均給水量15,890立方メートルを予定いたしております。第3条の収益的収入及び支出につきまして、まず収入におきましては、第1款、水道事業収益349,456千円を計上いたしております。内訳でございますが、三市からの給水料金であります、第1項、営業収益348,348千円と第2項の営業外収益では企業団用地を（株）KDDIに貸付をしております土地賃貸料の収入によります1,108千円でございます。

次に支出でございますが、第1款、水道事業費用347,480千円を計上いたしております。内訳といたしましては第1項の営業費用といたしまして336,210千円で受水にかかります原水費、職員給与費等を含めた浄水及び送配水費と総係費及び減価償却費等の計上をいたしております。第2項、営業外費用といたしまして議会費及び消費税等で11,170円を、第3項、予備費といたし

まして100千円を計上いたしております。

以上収支いたしますと、当年度では、1,976千円の純利益が見込まれるものでございます。

次に、2ページに移りまして、資本的収入及び支出の第4条でございますが、収入の第1款、資本的収入につきましては、ゼロでございます。支出につきましては、第1款、資本的支出38,388千円を計上いたしております。これは、超音波流量計取替工事と水道施設の維持管理費用としての建設改良費でございます。

次に第5条、一時借入金の限度額を40,000千円と定めるものでございます。第6条は各項経費の流用事項を定めております。

次に、3ページに移りまして、第7条は、議会の議決を必要とする流用事項をそれぞれ定めているものでございます。

第8条は、たな卸資産の購入限度額を定めたものでございます。なお、詳細につきましては、4ページ以降に予算実施計画及び資金計画ほか、各資料を記載してございますので、御参照たまわりまして、よろしく御審議のほど、原案どおり御可決下さいますよう、お願い申し上げます。

○議長（小林 昌子議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

○7番（山本 秀明議員） そしたらですね、ちょっとお聞きしたいのですけども、先ほどの件とも関わるのかもしれないのですけどもね、年間総配水量580万tということで、それに基づいた営業収益ということで、予算組みされてるんですけども、いわゆる、この580万t、これは当然、光明池さんから水を貰っていると、基本的には余剰水やということで、私も理解しているのですけどもね、いわゆる、このへんのその根拠っていうんですか、それは何か書面で交わしたりとか、話し合いとか、どういう根拠を持って、この毎年大体このぐらいの流量だと思うのですけども、されてるのかっていうのを、この際ですでお聞かせいただきたいというふうに思うのと、もう1点4ページの所ですかね、営業外収益の受取利息のところの預金利息、これが2万円というかたちであっております。以前の議会において、いわゆるその、以前お聞きしたときは、ほとんど流動資産の方を普通預金で持たれているということで、いわゆるその資産運用という観点から、もうちょっと考えたらいかがですかということで御提案申し上げたんですけども、24年度の予算段階においても、前年度と同じ預金利息というかたちであっておりますね、多分そのへんは考えられてるのだろうか、そのへんについて、以前質問させていただいたのを受けて、どのように御検討されているのか、そのお考えをお示し下さい。以上です。

○参事（定 等） 参事の定です。まず1点目の山本議員の御質問ですけども、年間計画水量の根拠といえますか数字の、こういった部分

につきましては、光明池さんと、そういう、この数字でやり取りするという文章とか、そういう決め事という、については一切ございません。一応、毎年度、協議して一定決まると、それがなぜ580万かというのでございますけど、一応、光明池さんの水瓶というのは限られておまして、だいたい、満水で330万tございます。年間、それを農業用水と和田さんとうちと、ということで、分けますんで、一定の先ほども言いましたけども、年間平均の雨量がだいたい1,400mmか1,500mm降るということで、それでいきますと、だいたい3回ぐらい、光明池の池が入れ替わって供給、農業用水と水道用水にいけるというような数字的なもので、だいたい安定に供給できるのがそれぐらいの数字だろうということで、580万tということになっています。それ以上降れば、当然、沢山供給できるということなんですけども。

次に、2点目、資金運用についてですけども、前回、山本議員から御指摘いただきまして、資金運用については、まずは事業運営資金、これはまず置いておくと、いうことがありますので、これがどれくらい要るのかというと、過去のを参考にしまして、一応、平成6年の大渇水で1億3千万ちょっとぐらいの支出がありましたので、それを、普通預金の決済用で預金しておいて、残りの部分ということで、先ほども予算書の19ページに載っておりますけども、だいたい現金預金では2億2千7百万ぐらいの予定、見込みをつけていまして、今現在、指定銀行2行に1千万ずつ2千万で定期やっています。それを引きますと2億ぐらい、で先ほども言いました1億3千ちょっとぐらいの分を決済用で普通預金に入金しまして、残り約6千万ちょっとぐらいを運用と、今回考えています。それを、運用方法ですけど、近隣市の銀行、メガバンク、その部分に定期というかたちで、今考えてまして、そういう部分で運用していこうかと、期間につきましては、1年から3年、1番金利の高い方法を、今考えながら1年から3年の期間の分を考えています。

時期でございますけど、今もうすでに、手続きの方入っていまして、今月中にそういうのを済まして、そのへんで預金入れたいというふうに考えております。以上でございます。

○7番（山本 秀明議員） ありがとうございます。年間、総給水量の根拠としては話し合いによってということで、書面とかそういうものでは交わしていないということで、お答えいただいているんですけど、ただこれは相手さんあることですのでね、それと基本的には、いわゆる農業用水が光明池さんとしては当然それを優先すると、まあ当然の話かと、まあいうふうには思うんですけども、ただまあ、農業者自身も減ってきているという中でね、そのへんについては農業用水というのも、若干まあ、以前と比べて減ってきているのではないかなというふうには思いますしね、やはりあの、企業団という立場からすれば、やはりそのへんのきちとした根拠に基づいた給水を確保していくということが、安定した経営につながるということになってきますんでね、まあそのへん出来るかどうかかわからないんですけど、やはり、そのへんについての話し合いっていうのも、きっちり進めていっていただきたいなというふうに思います。

次に、資金の運用なんですけども、今お答えあったとおり、以前、急にお金の要りようができたということで、1億3千万ほど残して、現在2千万定期やっているということで、残りの6千万ぐらいについては、資産運用やっていきたいというふうな方向をお示しいただいたんですけども、この間言ってから、もうだいぶ、何か月も経つという部分もありますしね、それと、いわゆる急にお金が要りようになったとしても、ただの定期預金やったとしてもね、別にそれは、お金全然使えないんじゃなくね、切り崩したら使えるわけなんです、いわゆる今、普通預金という状況の中では、ここにありましたように2万円程度の部分でしか預金利息のほうがあがらない、でっ、かたや、先ほどの案件でもあったんですけど、今年度も一時借入金、まあ借りる予定は多分使わないと思うんですけどもね、この4千万円について、借りるほうについては、80万の預金利息を計上しているということですのでね、やはり、持ってる資金についても出来るだけ、まあ安全第一やと思います、ペイオフという部分もあると思うんですけども、ただ、都市銀行がペイオフでどないもならんようになったら日本経済もめちゃくちゃになってると思いますんでね、まあそのへんは色々勉強していただいて、資金額についても、運用額についても、先ほど答えあったんですが、私はもうちょっと、そんなに1億3千万、そこまで残さなくてもね、もうちょっとそのへんについては、運用する部分、でっ、やっぱり普通預金という部分についてはね、やはりその管理という部分でも、やはり定期にしておくほうが安全という部分もあろうかと思しますので、まあそのへん、また御検討していただいて早期に対応していただきますようお願い申し上げます。以上です。

○議長（小林 昌子議員） 議長から申し上げます。山本議員からの御指摘の1億3千万円というのを普通預金、利息のつかないところにおくよりも、これについては早期に検討するよという御意見でしたが、これは早期に検討していただきます。

○企業長（阪口 伸六市長） 御要望やから、御要望として承っておきますわ。御答弁はいいです。

○議長（小林 昌子議員） はい。ほかに質疑は。

○1番（堀口 陽一議員） 1番堀口です。先ほどの山本議員との確認質問になってしまうんですけども、1点お聞きしたいと思います。

ヨコエビの発生でですね、2か月も停水、そのことによって、まあ7千万以上の赤字ということなので、それがですね、本来、今年度中にですね、穴埋めをする予定やったと、その部分が、池の耐震工事によって出来なくなった、その部分をですね、本来でですね次年度で穴埋めしていただきたいんですけども、これもまあ、次年度も580万tの予定ということなのでね、それで例えばこれを3か年

です。ね回収する光明池との交渉が出来るとかね、そういうふうな今回、本来ならば今年度中の穴埋め、その部分が池の耐震工事によってずれてきた、その部分をですね、どのように今後の計画の中に織り込んでいくのかお聞かせください。

○企業長（阪口 伸六市長） 先ほどより、まあ今年度はですね、私も冒頭御挨拶にて申し上げましたように、本来予定しておりました、いわゆる給水量の確保が出来なかったということですが、まあ1つは水と、いわゆる水道水というのは、まず安全且つ衛生面も含めてですね、万全の体制で送水させてもらわなあかんということでの、緊急の対応であったわけですが、そういうことから、まあやむをえない、そういう工事をやりたいと、それをまあ、なんとか短期間に、職員も頑張ってくれまして、後半と申しますか、下半期に回復に向けてするように、光明池さんのほうも年間ですね、その当時は御理解をいただきまして挽回すべきと給水予定ございましたが、これもまあ光明池さんの事情でですね、まあいわゆる工事をやはり安全にして、これもまあ地域住民さんに対する、対策としての、耐震補強工事ということでございますので、色々ございましたが、やむをえないことだろうということで、今回のような了承となったことを申し上げます。無論、公営企業ということでもございますし、この水量の減ということで、考えますれば、安定的に580万tを確保し、またそれが少なければ、またさらに上増しして来年度へというふうなかたちに、一定わかるわけですが、当然、それはもう先生方も御承知のとおり、泉北水道企業団そのものがですね、ちょうど私が市長として就任しまして副企業長として寄せていただきまして、当時、企業長は今の神谷市長さんの前の茶谷市長さんでして、その当時にですね、この水道企業団を廃止というふうな話がございまして、そういう方向で進んでおった。やはり、まあ私も副企業長として参加し、そして、その後、泉大津市さんのほう、神谷市長さんに代わられまして、でっ、神谷市長さんのほうと色々お話させていただく中で、やはり、この防災面とか、特に昨今、東日本から非常に重要視されておりますけども、まあなんとかこの泉北水道の水をですね、やはり、当時は大阪府の水道部がございまして、府営水1本にしてくれという強い要請があったわけですが、それもまあ、今、水道企業団というふうなかたちが変わりまして、時代の流れを感じるわけですが、いずれにしても、そういうことの、いわゆる要請があるなかで、神谷、当時の企業長さんの御努力でですね、廃止を延長しようということになりました。それからは、いわゆる、ご存知のように三市ですね、広域的な水道の在り方を検討していこうということに理由にしてですね、さらに延長して現在に至っているわけですが、やはり、もちろんこれは、今現在ございます大阪水道企業団とのですね、色々また話し合いも含めて練り合いをしていきたいと思いますが、まあこの泉北水道だけのことを考えて、行政というのなかなか難しいのも実情でございます。まあ、議会のご意見は、御意見として御要望はしっかりと受け止めさせていただいて、私どもといたしましても、水道企業団の経営、また安定給水ということをお願いしております議会の議員諸兄のですね、思いは受け止めさせていただきながらも、そういう色々な過去の経過の中での、

この泉北水道企業団の、今後もなんとか続けていきたいという、私もそういう思いでございます。そういう中での取り組みでございますので、どうかよろしく御理解いただきたく願うところでございます。まあ、お答えになったかどうかわかりませんが、御主旨の御要望の趣旨のほうは御要望として受け止めさせていただきますので、どうかよろしく願い申し上げます。

○1番（堀口 陽一議員） 今、企業長のほうから答弁いただいたんですけども、私もですね、本来ですね年度内に回復予定だったわけですよ、それを、次年度で一気にというのは難しいと思うんですけども、でも年間降水量がですね1,400から1,500と推移する中で、例えば3か年とかですね、5か年で光明池さんと長期でも良いから今年度分の回収する、ヨコエビの分をですね、何とか回復するような協議をですね、申し入れというか、しておけばですね、今後の給水にもですねうまく影響をしていくのではないかなと思うんですけども、その点について御答弁お願いします。

○企業長（阪口 伸六市長） まあ、そういったことも含めて、今、お答え申し上げたつもりでございまして、一定、努力はしてまいります。しかし、相手さんのあることでございますし、大阪府全体の水道行政の中での、この泉北水道企業団の位置付けがありますので、微妙な関係も関係官庁ともしていかなければなりません。御要望は御要望として受け止めさせていただきますが、そういうことでよろしく願い申し上げたいと、よろしく申し上げます。

○議長（小林 昌子議員） すいません、理事者に申し上げます。

堀口議員は、23年度の赤字部分をもっと具体的に光明池との協議で方針を示されないのか、ということをお聞きになっておられます。企業長の御答弁をお伺いしておりましたが、思いは十分伝わってまいりますが、具体的なことが少し欠けているようにも感じましたので、そのあたり、再度、もし御答弁願えれば、これは私の判断で、今、申し上げておりますのでよろしく願いいたします。

○企業長（阪口 伸六市長） 同じ御答弁になって恐縮なのですが、何度も恐縮でございますが、当然これは、関係官庁とも協議していかなければなりません。また、色々と庁外の光明池の皆様方にも、色々、今まで信頼関係のもとで進めてきた経過がございます。

基本的には農業用水ということ、まあ灌漑用水ですね、それをこの水道水として頂いているわけでございますので、その信頼関係も大事でございます。

まあ、そういったものも含めまして、そういう情勢があるわけでございますが、議会としての御要望は御要望として受け止めさせて

いただいて、今後検討してまいりたいということでございますのでよろしくお願い申し上げます。

○1番（堀口 陽一議員） 企業長の思いは十分わかるんで、その中で光明池さんへの配慮、これも絶対していかなければいけないんですけどもね、例えば、本来、今年度中に埋めれる分をですね、例えば、何とか2年なり3年なりで穴埋めできないかという、光明池さんとのお話しはあったのか、そのへん、ちょっとお聞かせ願えませんかでしょうか。

○企業長（阪口 伸六市長） 先ほども申し上げておりますように、予算としては580万tで計上させていただいております。つまり、私どもといたしましては、これまでどおり580万tを給水させていただきたいということでのかたちで現在進めております。でっ、この一方の話につきましては、今、先ほども色々御要望いただいた部分受けまして、一定、検討また、色々努力はしてまいりますが、現状としてはそういうことでございますのでよろしくお願い致します。

○1番（堀口 陽一議員） まあ、具体的な部分ね、具体的な部分で光明池さんとの、その部分についての話を今後していただけるのか、いただけないのか、それについてちょっと、所長お願いします。

○企業長（阪口 伸六市長） 何度も同じ話でございますけども、議会の御要望ですから、それは検討させていただきます。ただ先ほどから申しあげてますように、関係官庁、また色々と関係する信頼関係のもとですすめておりますので、そのへんも含めて色々検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

○1番（堀口 陽一議員） わかりました。

○議長（小林 昌子議員） よろしいですか。

○1番（堀口 陽一議員） はい。

○議長（小林 昌子議員） 他に質疑は。

○5番（田中 一吉議員） 田中でございます。関連するのかわかりませんが、質問させていただきます。

水道の収支状況につきましてはですね、たまたま今年度ハプニングでエビの発生があったということでございますが、1つは水道、これからも続けて、継続してやっていこうということでね、ご努力の中で、そういう方向になってきているのですが、今後心配されるのは、非常に施設そのものが老朽化しているという状況もございますので、たまたまやっぱり、どこか不具合で事故の発生だとか、新しくどこまで設備を変えていくとか、設備投資をしてどこまで、その、やるかという、そのへんの状況も出てこようかと思いませんので、そのへんのことを見通しながら、収支がたっていくのかどうかも、ちょっとそのへんの見解をお示しをいただきたいのと、光明池での水源確保で、今やってきてるんですが、自前の580万tのマックスで契約をしていこうということでは良いんですけども、まだまだ水質が大変良いということと、光明池の水についてはですね、原価が安いということもございますので、できるだけ、可能な限り泉北水道からの供給を増やせばね、過去にやってた府営水道から企業団にかわりましたけれども、そのへんの、こちらの事情で増やしていければ、それぞれの三市の自治体の原水の単価も下がるということもございますのでね、そのへんのかねあわせで今はもう昔のように、府営水道から一定の水を確保、入れてもらわな困るよっていうようなね、そのへんのことか無いのかどうか、そのへんちょっと2点ですね、ちょっとお答えをいただきたいと思います。

○参事（定 等） 参事の定です。まず1点目の御質問ですけども、今後継続していく、まあ老朽化が進んでいると、いう分につきましては、過去2年間の調査で色々、躯体の強度とかいうところを調査いたしまして、一応、一定、継続して用水供給事業が大阪府との話でできるということでございますので、23年度以降の部分について維持管理にちょっとこいれをやる、大きくてこいれをするといいますが、かなりの費用がかかりますので、現状維持できる分のでこいれを考えております。

2点目の、光明池の安い水を、ようけ三市さんに送る、これはもう当然やりたいというふうな、我々もかなり、最大限の努力したいんですけども、先ほども言いましたように、老朽化を進んでる中で、処理能力というのがございまして、日最大25,000t、これがまあマックスでございまして、今の能力としましても、80%ぐらいが、ちょっと、いっぱいいっぱいかなということでございますので、そのへんの処理能力も考えながら、1tでも多く三市さんに送りたいというふうに考えています。以上です。

○5番（田中 一吉議員） 田中でございます。御答弁いただきまして、まあ老朽化の問題については、多少、部分修理というのがね、多少メンテナンスをしていけば、そんなに大規模な状況にはならないということで、それはそれで、お答えをいただきましたので、あれ

なんですけども、せっかく良質の水が安く、今、確保できてるということを最大限にですねメリットを出す必要があるんじゃないかということで、可能な限り、処理能力の問題はあるにしてもですね、やっぱりそこは多少手を入れて、ある程度供給がアップするというね、そのへんの採算ベースで考えるのは、非常に、そのへんはきめ細かなですね、やっぱり、能力アップも含めまして検討すべきではないのかと、いうふうに申し上げて、意見として質問を終わりたいと思います。

○議長（小林 昌子議員） 他に質疑は。

○13番（寺島 誠議員） 寺島です、よろしくお願いします。

3点あるんですけども、御要望なんですけど、1点は24年度の予算の中にですね、議会費の中で旅費であったりとか、自動車借り上げ等のそういったものが含まれてます。まあこれは視察の予算ですよ、それで昨年、視察に行かせていただきまして、私、新人で初めてだったんですけど、行く前にですね送られてきた物が、中に、行程表であったわけで、せっかくこれだけの予算を使ってですね、視察に行かせていただくうえで、やはり事前にですね、ある程度のことは勉強してから行きたいというふうに思いました。それに伴って、やっぱり、なぜ、そこへ行くのかとか、おおよその趣旨とか目的とかっていうものを事前に教えていただきたいかったな、というのが感想です。ですから、今後、視察の際にはですね、そういうことも事前に、なんらかの書面を出していただきたいというふうに思います。それを、ひとつよろしくお願ひいたします。

それと、もう1点はですね、先ほど、企業長からもお話しありましたが、20年度ですか、23年2月に出されたですね、今後の、報告書ですね、これから10年かけて広域化していくと、それで一定の施設の共同化、管理の一体、経営の一体をしていくというふうな報告書を出されています。これ、私も役所のほうで見させていただいたんですけど、こうなってくると今後、この泉北水道のですね状況は以前からは変わってくるわけであって、その中で進めていくのであれば、一定の、例えばホームページであったりとかいうことも考えていただければなと思います。もうインターネット時代ですし、視察行く際もですね、そういう浄水場のホームページで、私ある程度のことは調べたんですけども、こういう時代なので泉北水道のほうでも、そういうホームページですね、考えていただければなと思います。

それともう1つは、前のそれにも伴いますけども、やはりその、情報公開条例、今後続けていくのであれば、それも必要になってくるというふうに考えてますので、視察の状況と、そしてホームページと情報公開条例、この3点について要望いたしますが、現時点で今、それらについて何かお考えがあれば教えて下さい。よろしくお願いします。

○議長（小林 昌子議員） はい、答弁。どなたか。

○所長（寺内 正満） 所長の寺内でございます。ただいま寺島議員から御要望のございました1点目の視察、事前に目的・資料等を配布して事前に知識を高めておきたいという御要望でございます。これ、できる限り意に添いたいと思いますので、それと、ホームページの立ち上げも内部的には、今、勉強してる最中でございます。3点目にございました情報公開条例とのからみもございますので、そのへん、これから勉強して早期に立ち上げることができるように努力していきたいと思っております。

○13番（寺島 誠議員） ありがとうございます。

○議長（小林 昌子議員） 他に質疑はございませんか。では、これより討論に入ります。討論のある方は挙手願います。

（挙手するものなし）

○議長（小林 昌子議員） 討論なしと認め、討論を終わります。
これより採決いたします。本件について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（小林 昌子議員） 異議なしと認め、日程第7議案第2号平成24年度泉北水道企業団水道事業会計予算につきましては、原案どおり可決することに決定いたしました。

以上をもちまして、すべての議案審議が終了いたしました。御審議誠にありがとうございました。

閉会に先立ちまして、企業長より挨拶の申し出がございますので、これを許可いたします。

○企業長（阪口 伸六市長） 本日は、御多忙な中、議員各位におかれましては御出席を賜り誠にありがとうございます。また、ただいま

は、それぞれの議案につきまして、原案どおり御可決御承認をたまわりまして重ねて厚く御礼を申し上げます。水道事業におきましては、原水の確保が第一でございます。色々今回御苦勞いただきましたことにつきましても、しっかりと受け止めさせていただきたいと存じておりますが、一方で、安全で安心した水を安定的に供給するというのも大事な勤めであるわけでもございまして、そういったことの心づもりと申しますか体制作りは引き続きしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

今後とも、神谷副企業長さん、あるいは辻副企業長さんとともに、力をあわせて、また、職員一同督励をいたしまして、全力で取り組んでまいりたいと考えていますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

結びになりますが、議員各位におかれましても、それぞれ、これから母市の予算議会等もあろうかと思っております。また、一方で寒さも厳しく、状況が続いております。どうかくれぐれも御自愛を賜りまして、御健康に御留意いただきまして、今後とも市政の運営に御尽力をいただきますことをお願い申し上げます、閉会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

○議長（小林 昌子議員） 企業長の挨拶が終わりました。

以上をもちまして平成24年泉北水道企業団議会第1回定例会を閉会いたします。

慎重な御審議をいただきまして、ありがとうございました。

閉 会

平成24年2月10日 午前10時43分 閉会

会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

平成24年2月10日

会議録署名議員

泉北水道企業団議会議長

小林 昌子

泉北水道企業団議会議員

中谷 昭

泉北水道企業団議会議員

田中 一吉